

「自動運転運行事業」 実施委託業務 報告書

2026年3月

株式会社**NTT**ドコモ

- 業務概要
- 運行結果
- 検証結果

業務概要

- レベル4 自動運転の社会実装を目指し、以下の事業概要と体制で実施した

事業概要

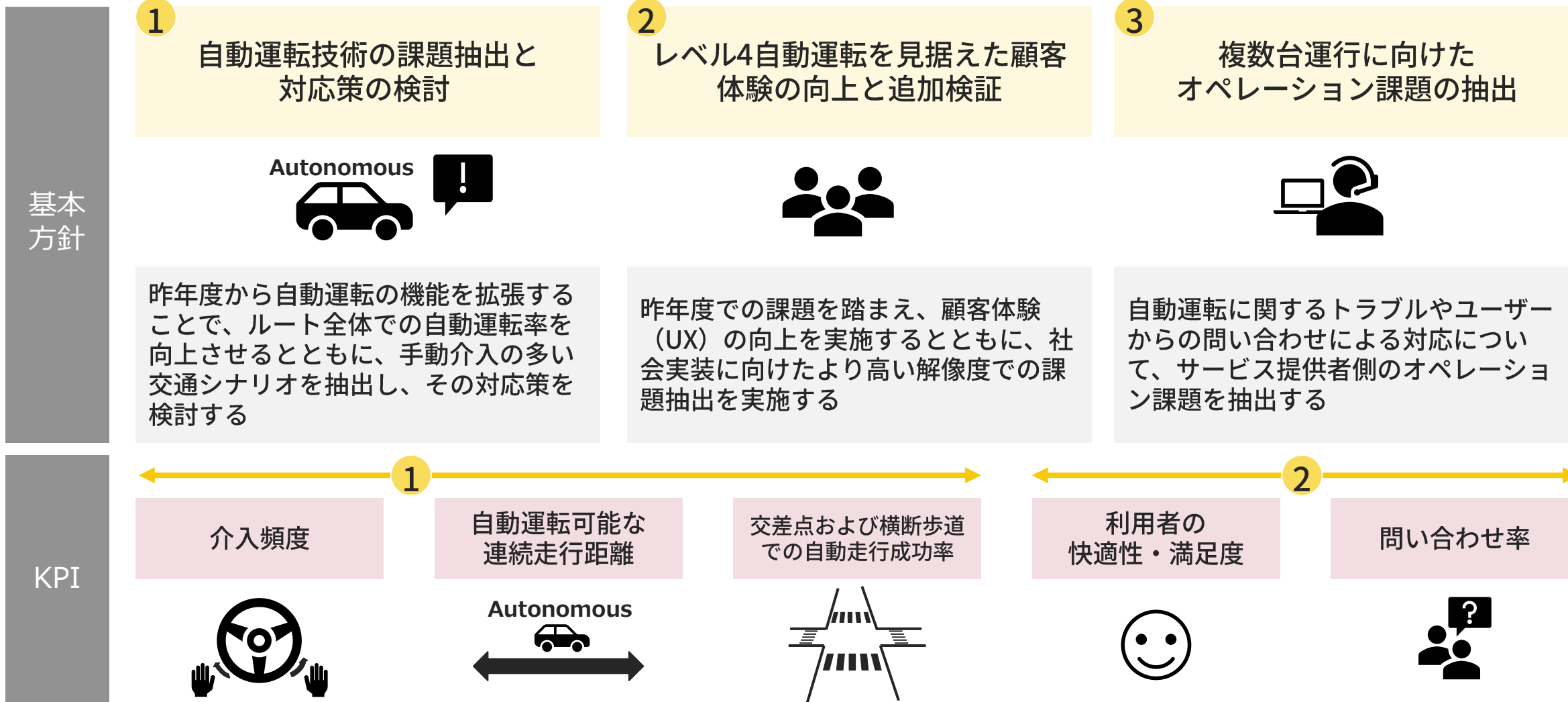


概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交通量の多い名古屋市中心部で、先端自動運転モビリティによる定期運行の実施 ■ ロボタクシーの実用化に向けた課題の抽出および対応策の検討
運行期間	2025年10月14日(火)～2026年3月19日(木)
運行頻度	平日、28便/日 乗客定員5名/便
対象者	愛知芸術文化センター又はSTATION Ai 利用者 (店舗・施設見学等の利用含)
利用方法	予約サイトからの事前予約制
料金	運賃無料

体制

企業名	主な役割
(株)NTTドコモ	事業統括、車両調達等
May Mobility Japan合同会社 May Mobility, Inc.	自動運転車両の提供、自動運転システムの提供、遠隔管制システムの提供
NTTドコモビジネス(株)	オペレーション及び現地支援
名鉄バス(株)	交通事業者としての運行支援
東京海上ホールディングス(株)	
東京海上日動火災保険(株)	自動運転向け損害保険の提供、レベル4自動運転にむけた事故対応の検証
東京海上ディーアール(株)	オペレーションのリスクアセスメント
学校法人日本教育財団	
HAL名古屋	地域事業者としての実証支援、車両デザイン
名古屋国際工科専門職大学	地域事業者としての実証支援、車両デザイン

- 3つの基本方針のもと5つのKPIを設定し、本事業で検証をした



昨年度事業との比較

● 3拠点目の追加、車両2台への増車、顧客体験の向上が主な変化点

2024年度（昨年度実証）

2025年度（本実証）

期間

約5か月
(2024年11月～2025年3月)

約6か月
(2025年10月～2026年3月)

運行時間

10:00～17:00（平日）

9:20～17:10（平日）

利用可能者

一般利用者
(STATION Ai利用者)

一般利用者
(STATION Aiまたは**愛知芸術文化センター 利用者**)

検証
ポイント

- ・自動運転技術の検証
- ・乗車体験の検証

- ・自動運転技術の検証
- ・顧客体験の向上と追加検証（乗客向けタブレットの追加）
- ・オペレーションの検証（複数台運行）

車両

乗用車・1台（混乗）

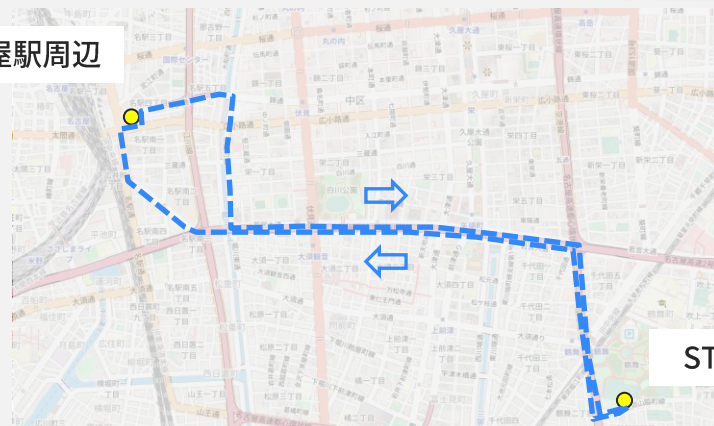


乗用車・2台（貸切）



ルート

名古屋駅周辺



STATION Ai

© OpenStreetMap contributors

名古屋駅周辺

栄駅周辺



STATION Ai

© OpenStreetMap contributors

- 乗車から降車までの一連をサポートする乗客向けタブレットを実装
 - 画面の一例は以下の通り

1

チェックイン



3

走行中のコンテンツ



2

スタートボタン



4

降車案内



● 運行期間

– 運行期間は以下のうち土日祝を除いた平日で運行を実施した

運行ダイヤ

2025年10月14日（火）～2025年12月25日（木）
2025年2月9日（月）～2026年3月19日（木）

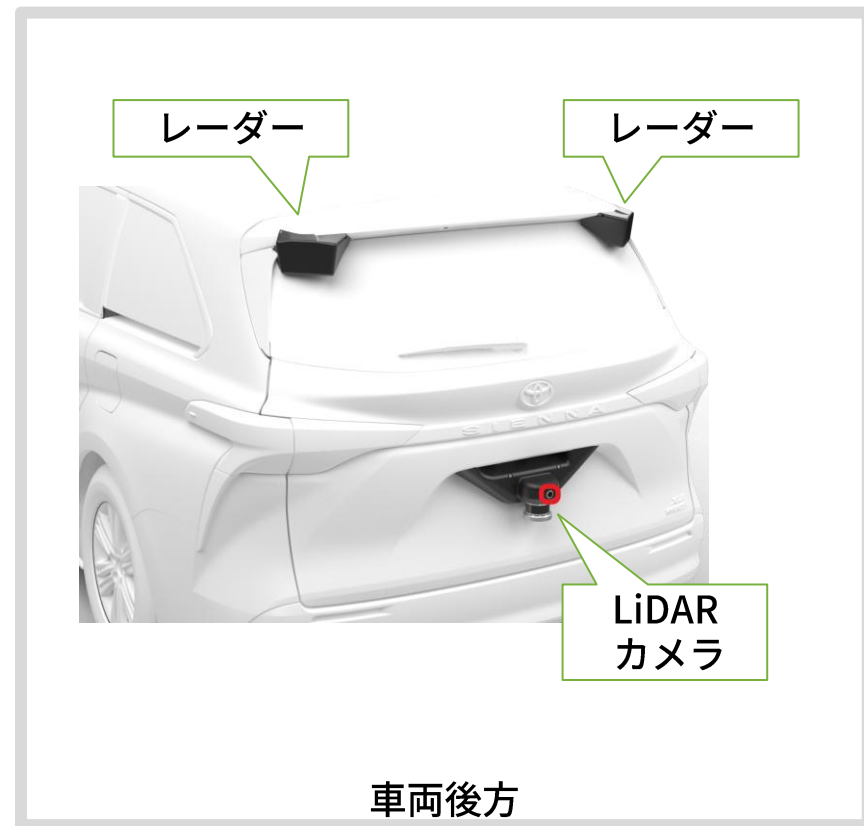
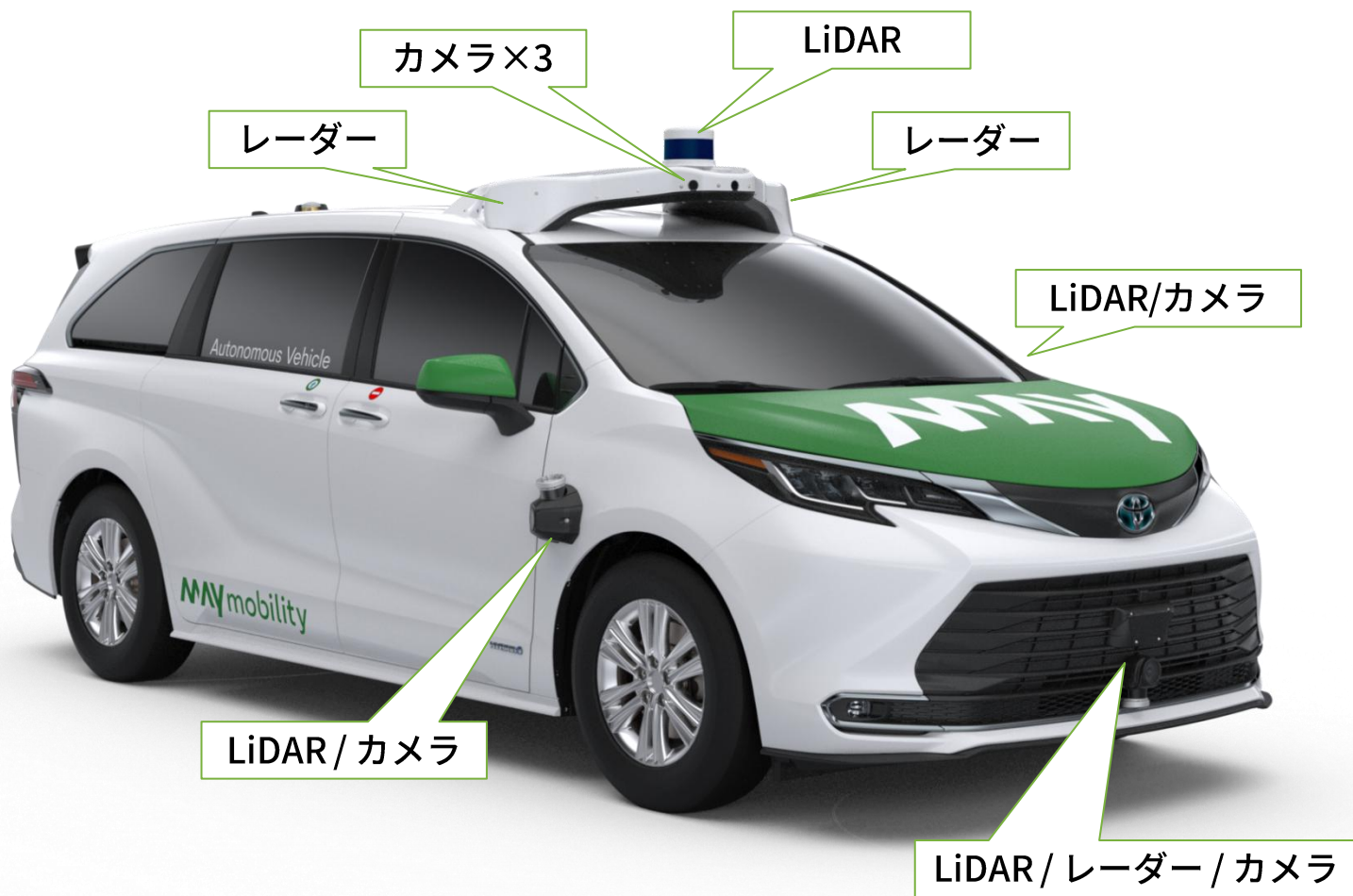
時	鶴舞 (ステーションAi)	名古屋駅 (スパイラルタワーズ)	栄 (芸術文化センター)
8			
9	栄50	Ai45	20
10	栄30	Ai25	00 40
11	栄10	Ai05 Ai45	20
12	栄30		00
13	栄10	Ai05 Ai45	20
14	栄30		00
15	栄15	Ai05 Ai50	20
16	栄00 名40	栄35	05 50
17			
備考	栄:名古屋駅経由栄行 名:名古屋駅行	Ai:栄経由ステーションAi行 栄:栄(芸文センター)行	全便 ステーションAi行

運行ダイヤ

2026年1月8日（木）～2026年2月6日（金）
※自動運転システムアップデート対応に伴う減便

時	鶴舞 (ステーションAi)	名古屋駅 (スパイラルタワーズ)	栄 (芸術文化センター)
8			
9		Ai45	
10	栄30		00
11		Ai05	20
12			
13	栄10	Ai45	
14	栄30		00
15		Ai05	20
16	栄00	栄35	50
17			
備考	栄:名古屋駅経由栄行 名:名古屋駅行	Ai:栄経由ステーションAi行 栄:栄(芸文センター)行	全便 ステーションAi行

- ミニバン「シエナ（トヨタ自動車）」をベースとした車両で、May Mobility社の自動運転システム（レベル2自動運転）を搭載



- 車両のラッピングデザインにはHAL名古屋および名古屋国際工科専門職大学の学生によるデザインを採用

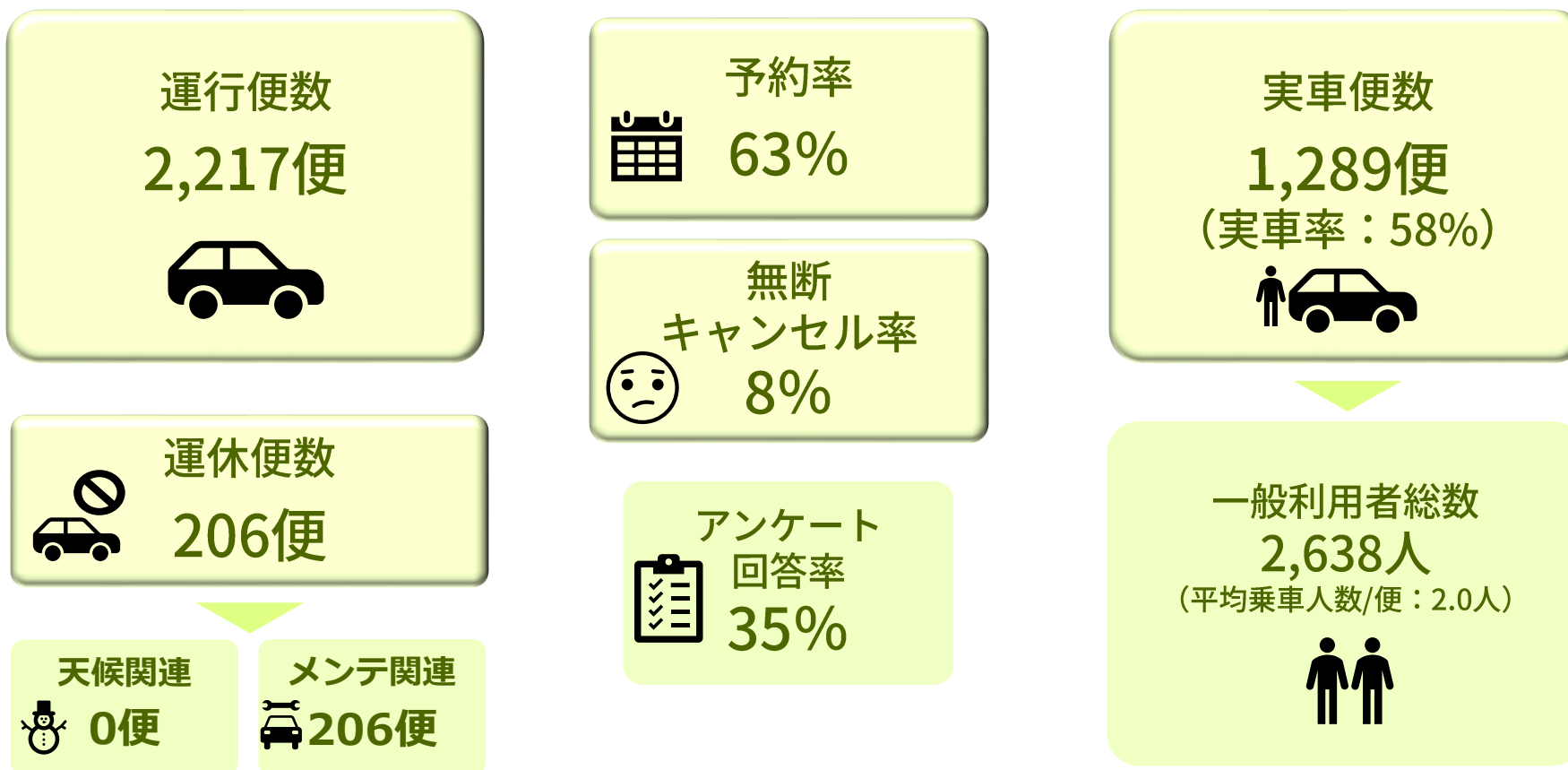


コンセプト	人と街の未来をつなぐクルマ
デザイン趣旨	カラフルな色彩で人の個性を、“ふわふわ”とした柔らかな質感で人の思いを表現し、人の思いが道となって全体のデザインとしてつながり、人と道がつながっていく未来像を表現。
デザイナー	HAL名古屋カーデザイン学科3年 大石歩輝

コンセプト	つながりと未来への希望
デザイン趣旨	親から子への未来へのバトンタッチを中心部分で表現し、背景には現代から未来へ移り変わる街並みと、インターネットによる多様なつながりを表現。
デザイナー	名古屋国際工科専門職大学デジタルエンタテインメント学科CGアニメーションコース2年 河村采佳・立松千明・坂奈月

運行結果

- 運行期間を通じた実績値は以下の通りとなった



自動運転走行と車内の様子

自動運転走行



錦通を自動走行する様子

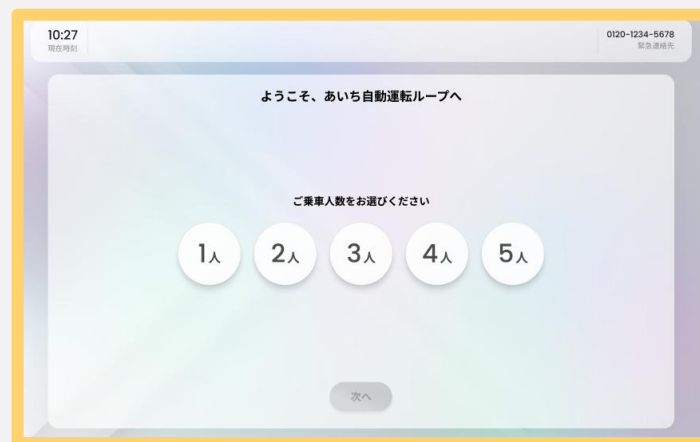


自動走行で右折する様子

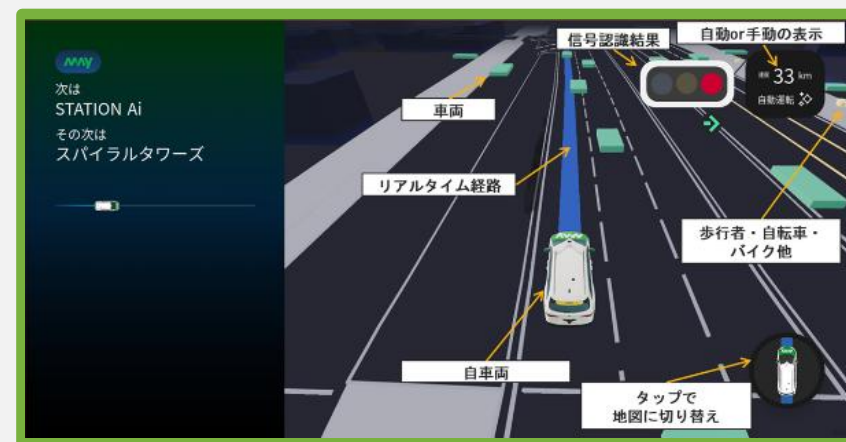
車内



車内の様子



乗客向けタブレット



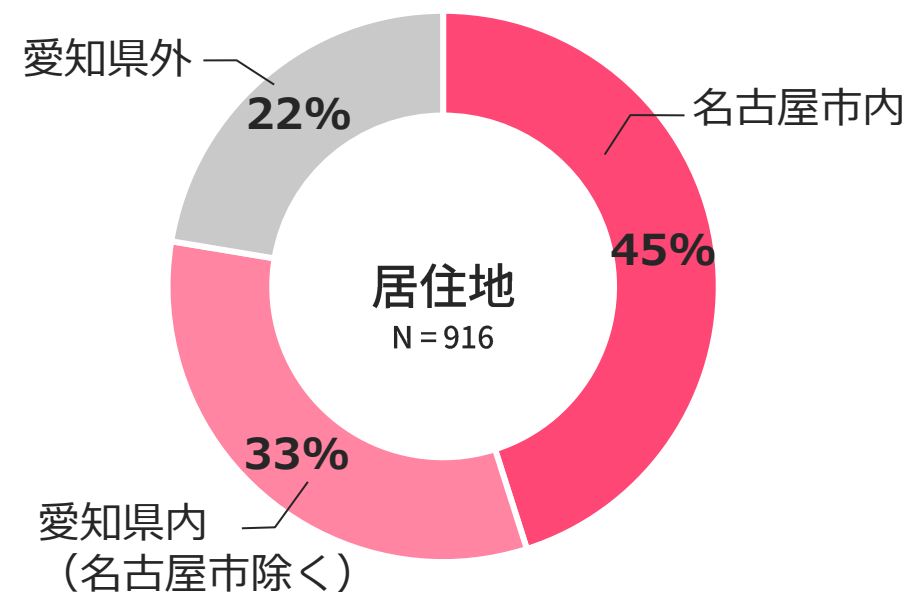
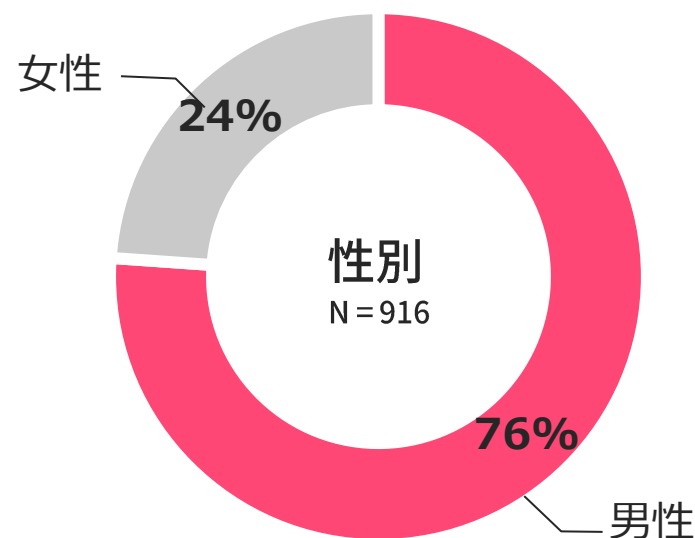
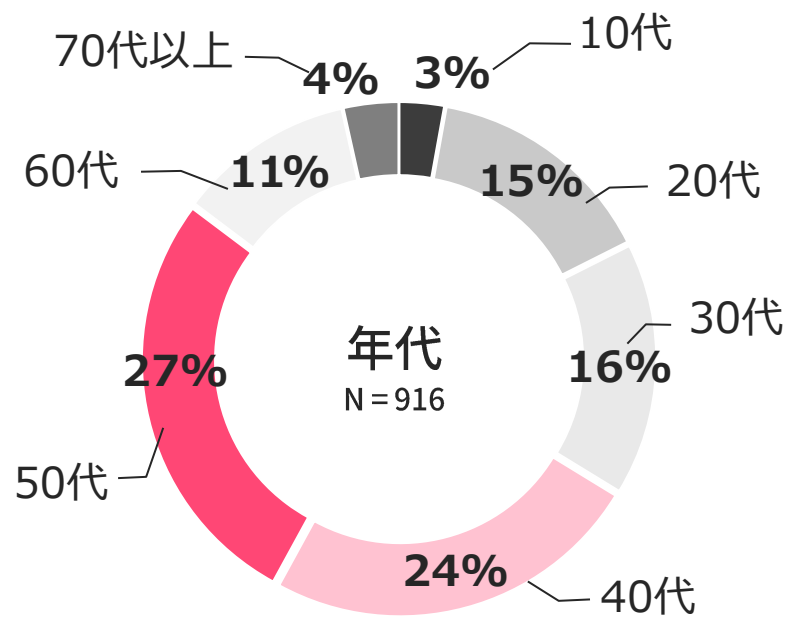
MPDMビューアー

検証結果

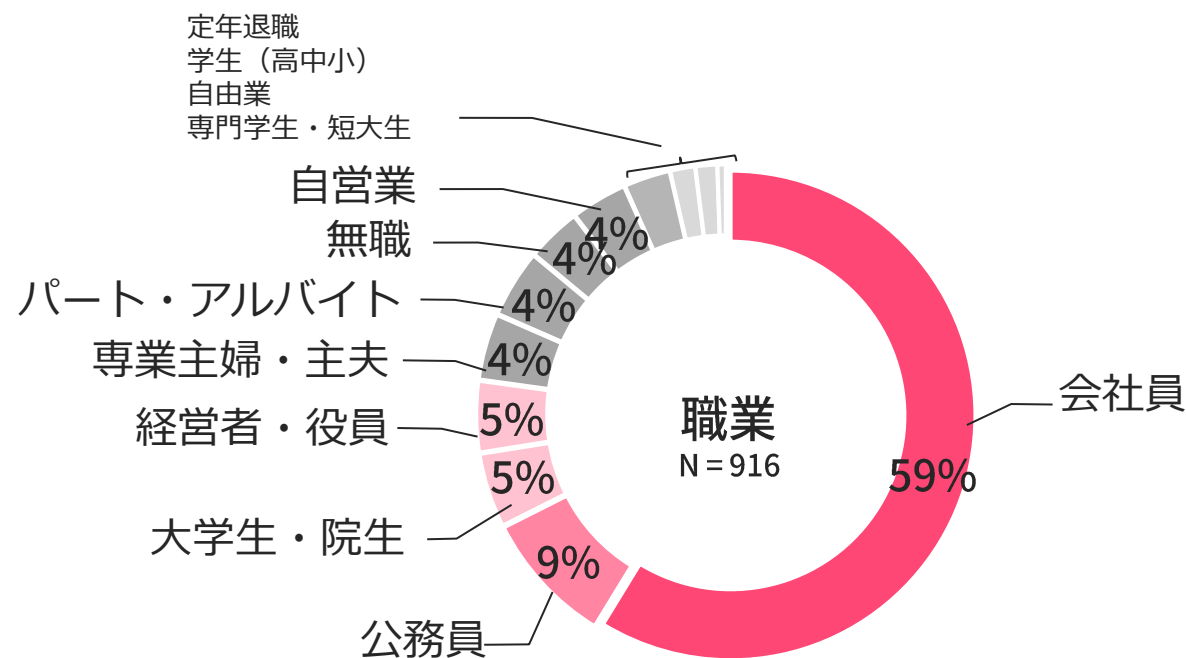
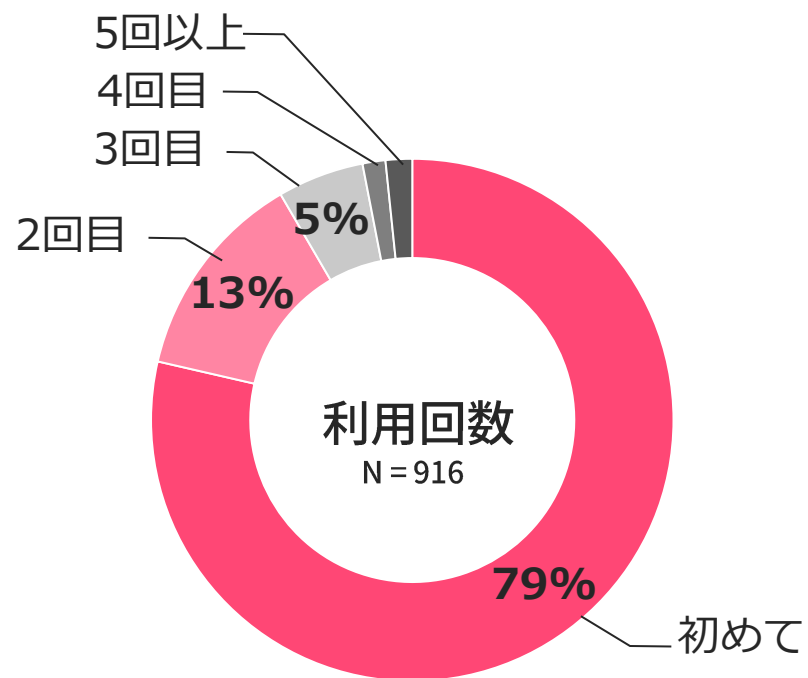
- 運行期間全体での集計結果は以下の通りであった
 - 交差点および横断歩道での自動走行成功率は、右折での課題が多く、目標未達
 - 問い合わせ率は、予約チェックインの操作に関する質問が多く、目標未達

	自動運転技術			顧客体験	
項目	1	2	3	4	5
	介入頻度	自動運転可能な連続走行距離	交差点および横断歩道での自動走行成功率	利用者の快適性・満足度	問い合わせ率
詳細	自動運転走行時に手動介入が発生した回数	自動運転で連続走行できた距離	通過した交差点と横断歩道の総数に対して自動走行できた割合	乗り心地、車内快適性、利便性などアンケート内容の点数結果(100点満点)	乗客が利用にあたり乗務員へ問い合わせを行った割合
目標値	8回/周 以下	2km 以上	95% 以上	80点 以上	1% 以下
実績	7.2回/周	2.6km	92%	82点	3%

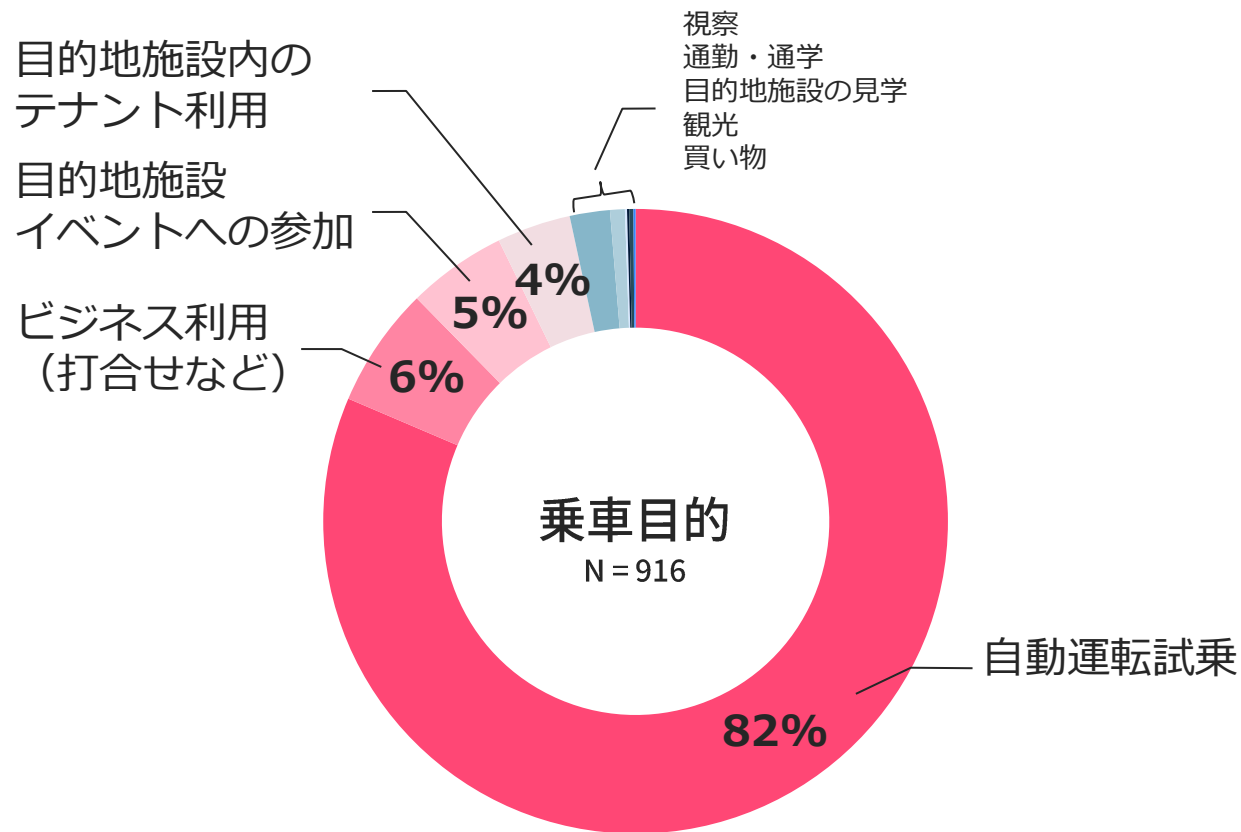
- 50代の利用者が最も多く、男性を中心に様々な地域の居住者に利用された
- 昨年度より、高い年代の方の利用が目立った



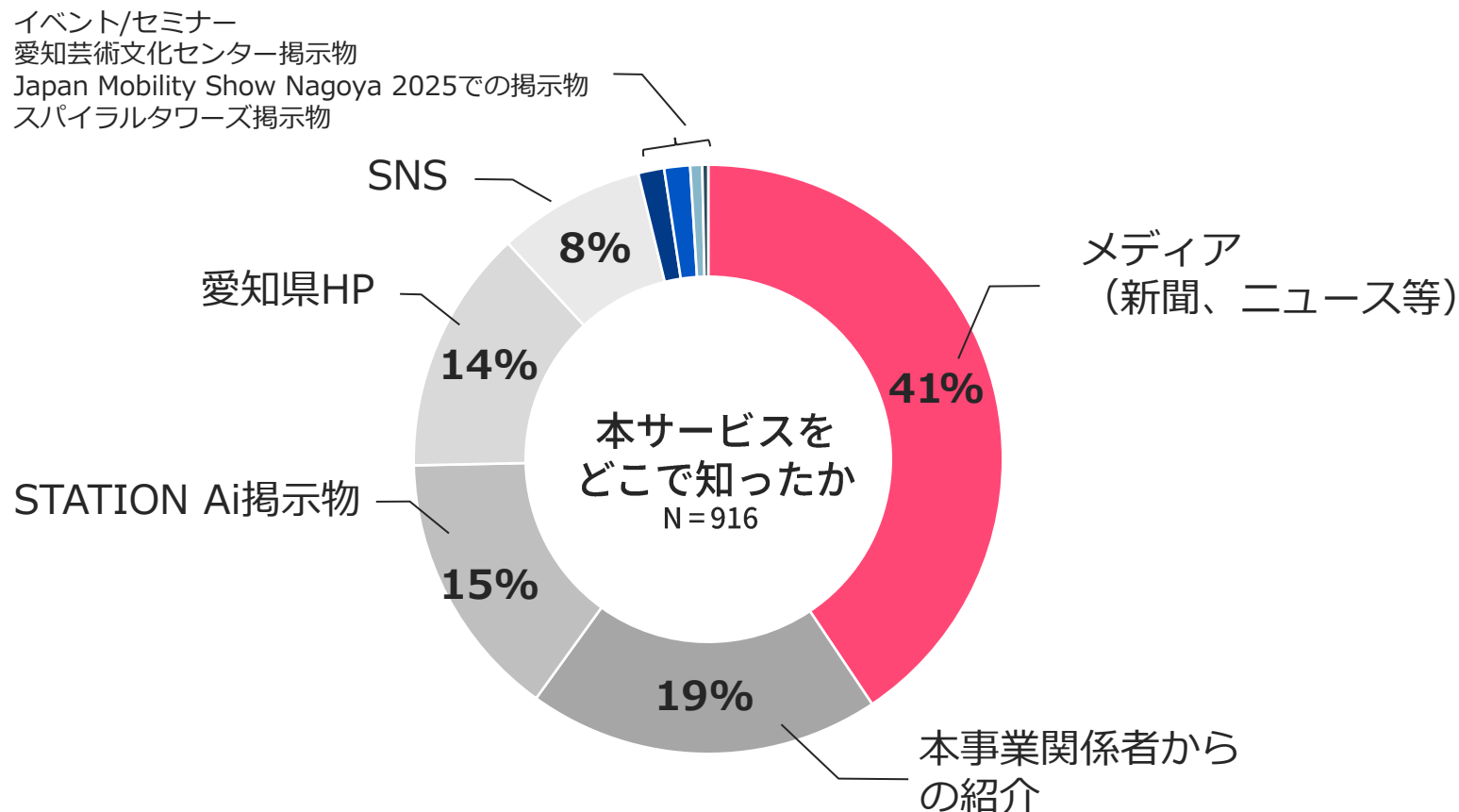
- 会社員を中心に初回利用が大半をしめた



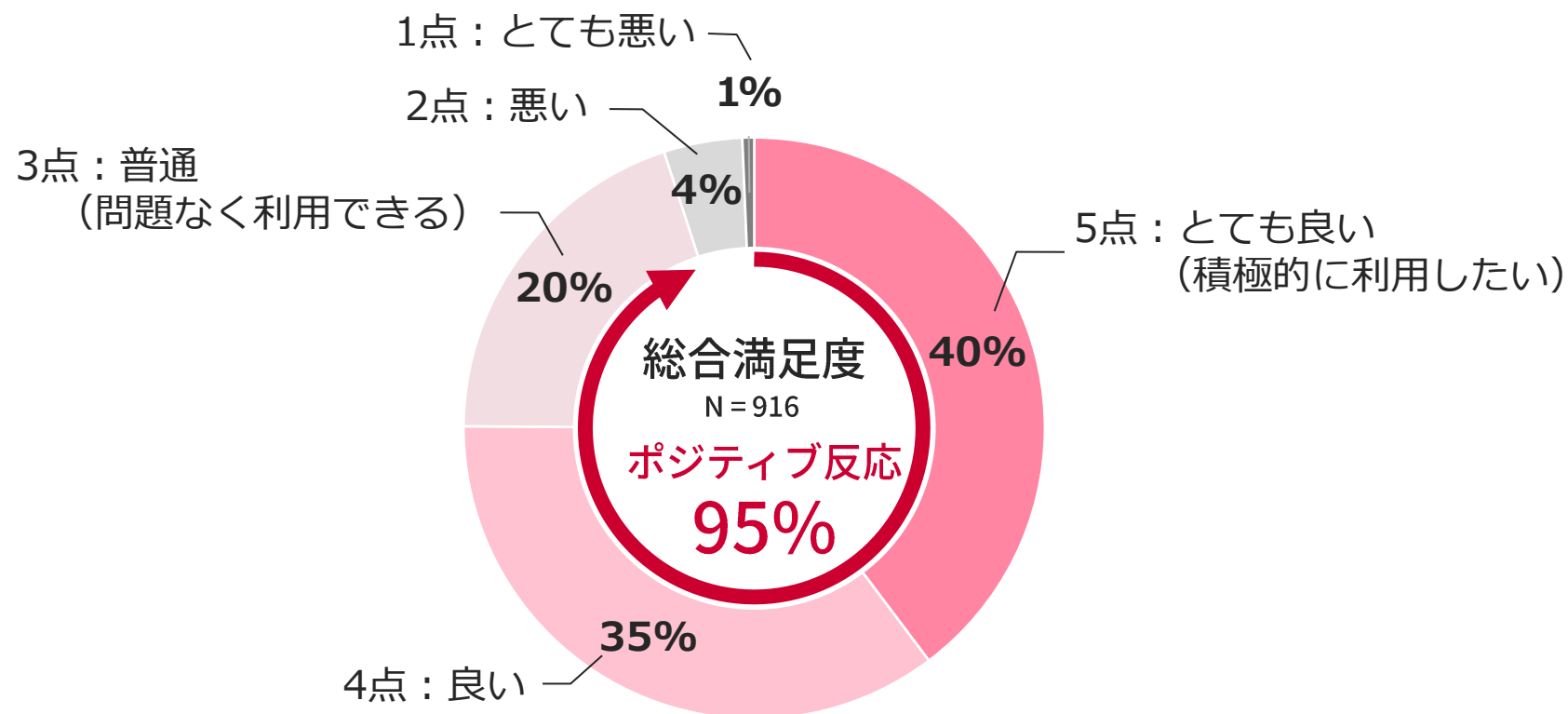
- 昨年度と同様、自動運転そのものを体験を目的とした利用者が大半であった



- 本サービスの認知経路は「メディア（新聞、ニュース等）」が最も多かった。これは運行開始時に地元テレビ局等による取材記事が認知に大きく影響したと推察される



- 総合満足度は95%がポジティブな反応であった



● ご利用者様の声の一部を以下で紹介する

N = 916

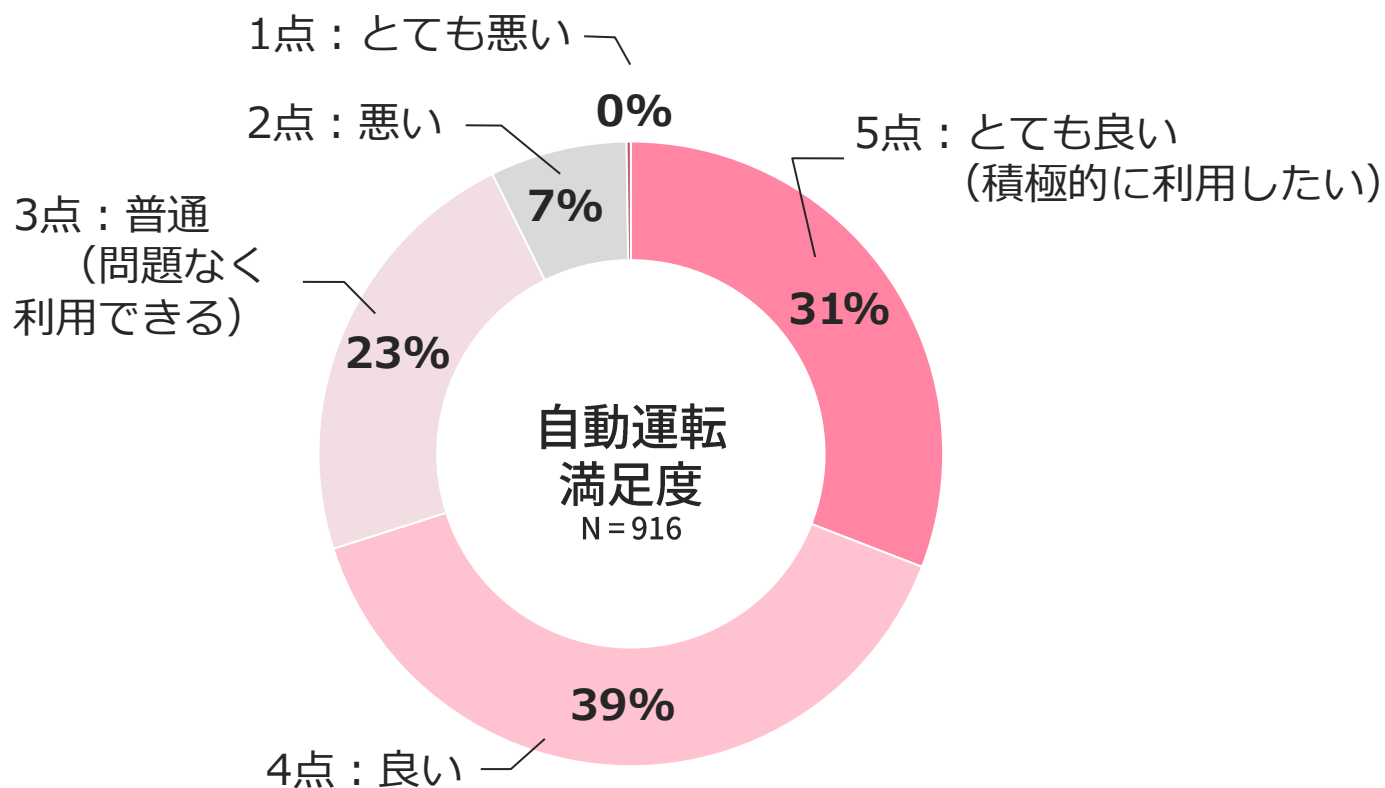
－ ポジティブ

- こんなに安心して乗れるものとは知りませんでした。車間距離もブレーキのタイミングも、正直人より良いかと思えるくらいでした。早く実用化して、高齢者の方が躊躇なく免許返納できたり、過疎地の路線バスにできたりすることを期待します。
- 交差点の右左折やブレーキなど、元々持っていたイメージよりも自然な運転に感じた。また交差点の飛び出し気味の歩行者も検知してしっかり停止していたため、安心感を覚えた。
- 楽しくなれました。何度もやってほしいエリアを拡大してほしい。公共料金と同等の値段で休日もやってほしい。科学館、名古屋城、名古屋港水族館、動物園など観光地への運行をしてほしい。
- もっと告知して、より幅広い方に体験してもらえたらと思う一般人でも利用できるところが良い。

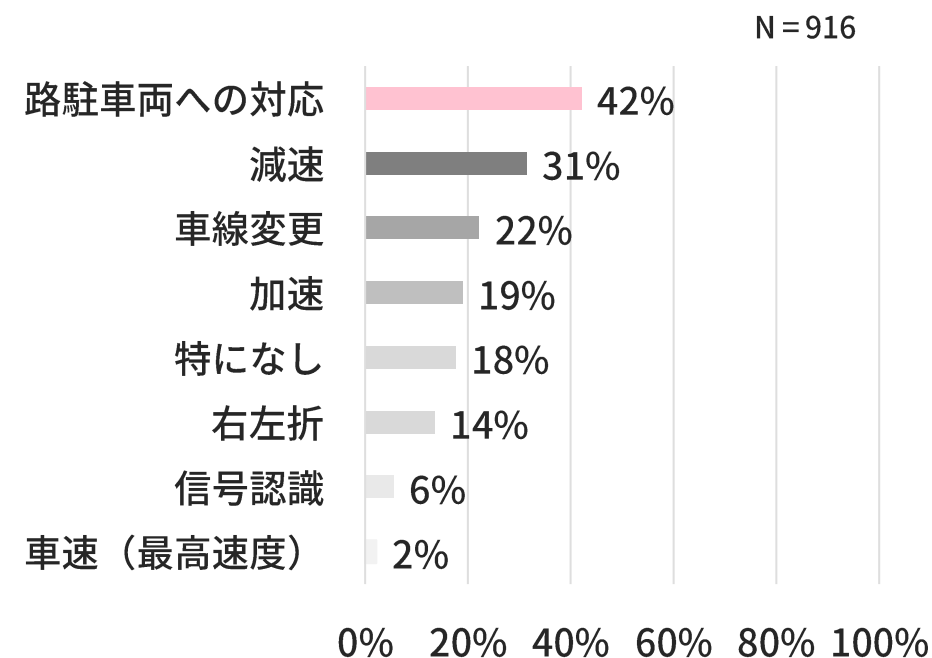
－ ネガティブ

- 想定より状況が進んでいないと思った。
- アメリカでWaymo、Zoox、Teslaの自動運転車に乗ったが、道路環境がアメリカより複雑な日本で、このレベルでは怖くて乗れない。クルマのコントロールが少し遅い気がします。
- 減速時のブレーキがいわゆるカックンブレーキで軽い車酔いになった。
- 乗り場、目的地の融通が利かないと利用する意味がないなと思う。電車に乗った方が早くつく。
- 初期のころとほとんど変わってない。

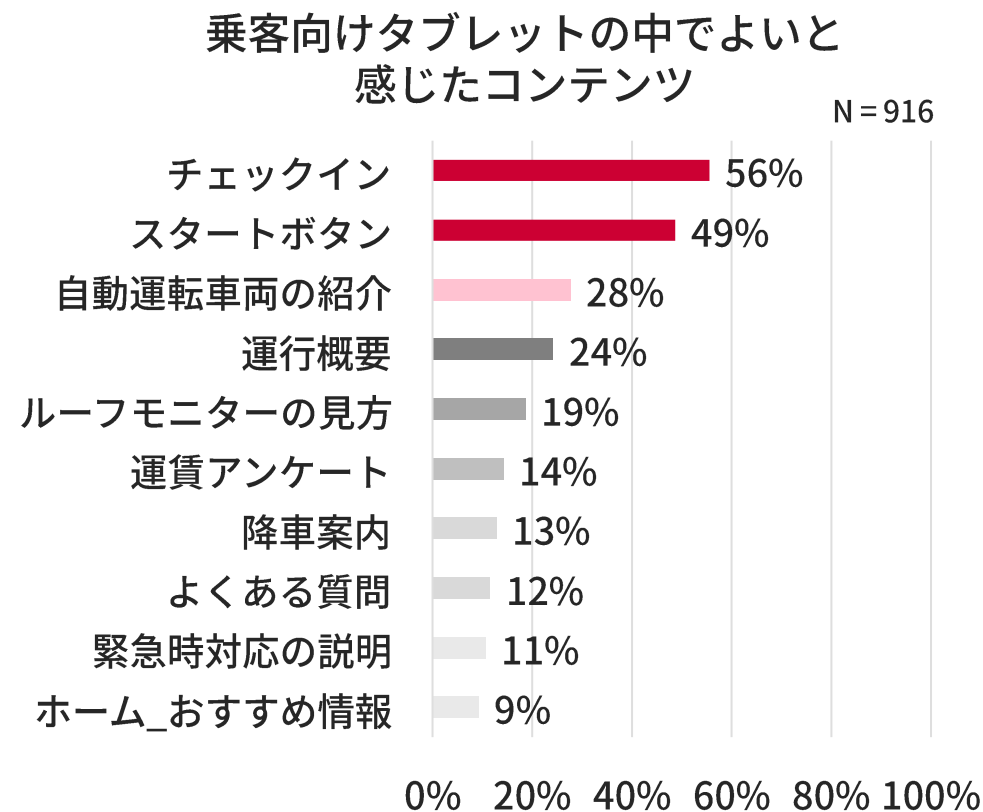
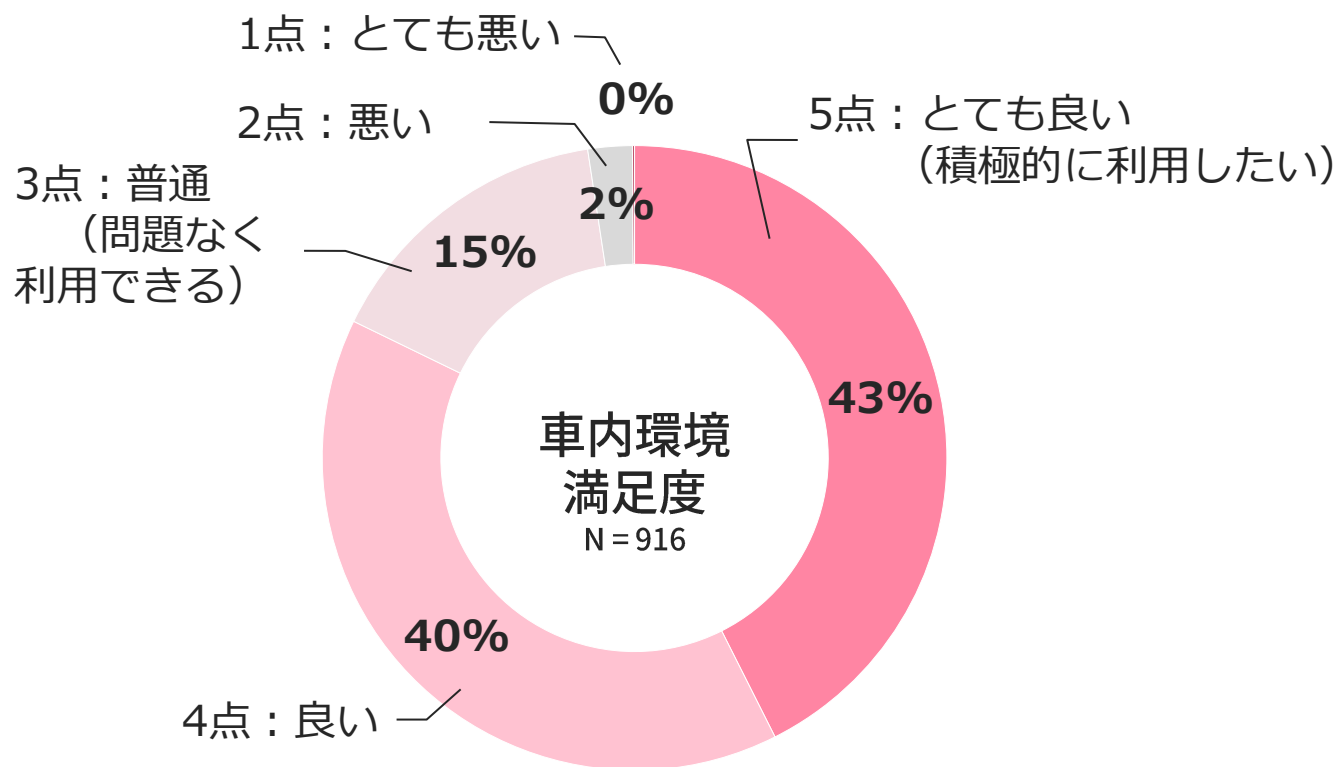
- 自動運転での走行における満足度は93%がポジティブな反応であった
- 一方で、路駐車両への対応など期待よりも手動介入が多いという意見もあった



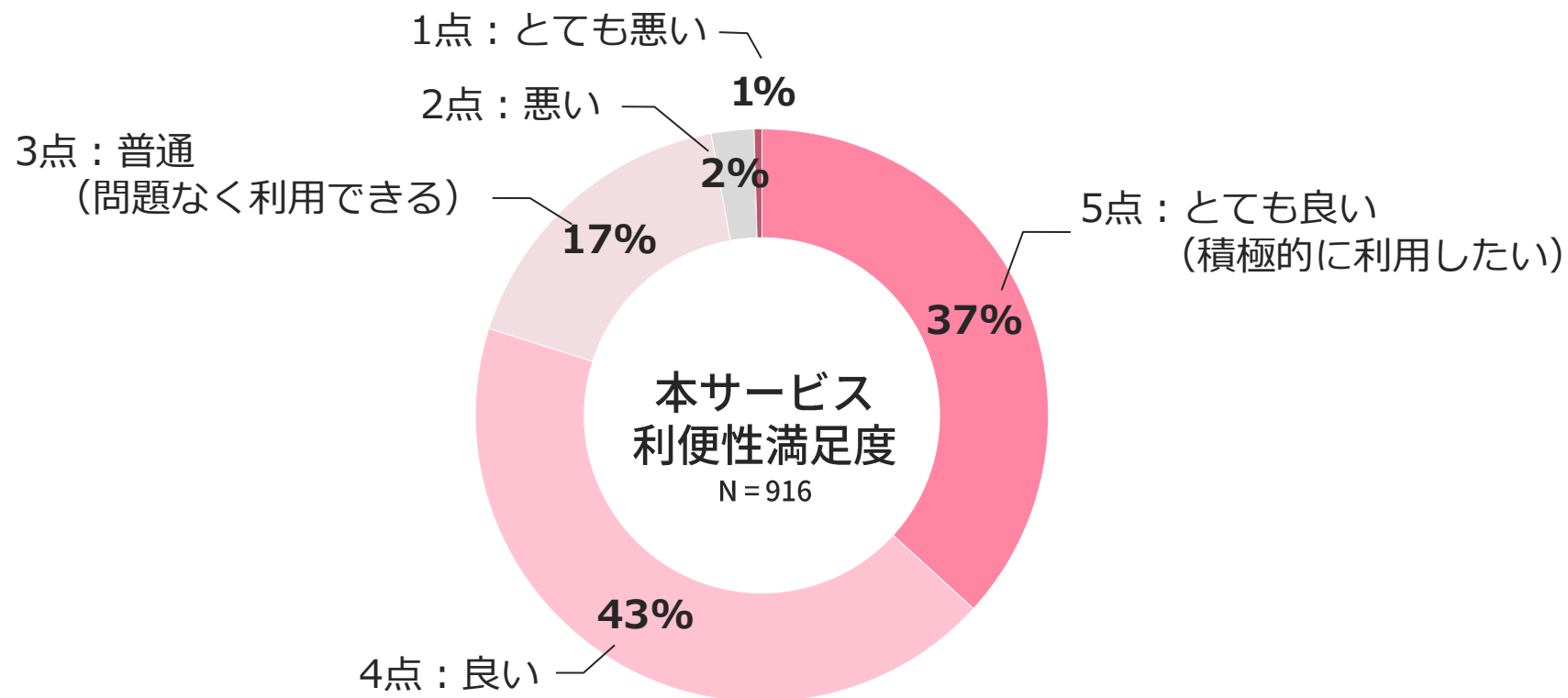
自動走行で課題に感じたシーン



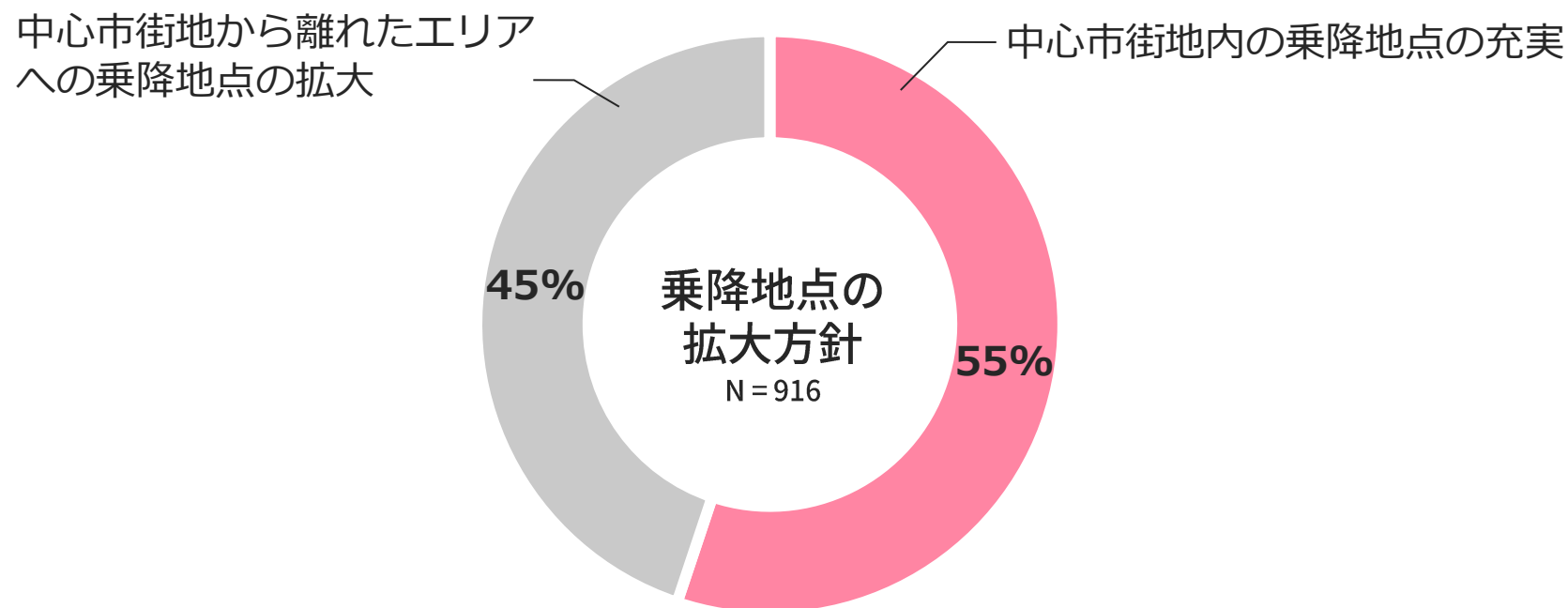
- 車内環境の満足度は97%がポジティブな反応であった
- 乗客向けタブレットによるチェックイン、スタート操作、自動運転車両の紹介動画については好評であった



- 本サービスの一連の流れにおける利便性満足度は97%がポジティブな反応であった

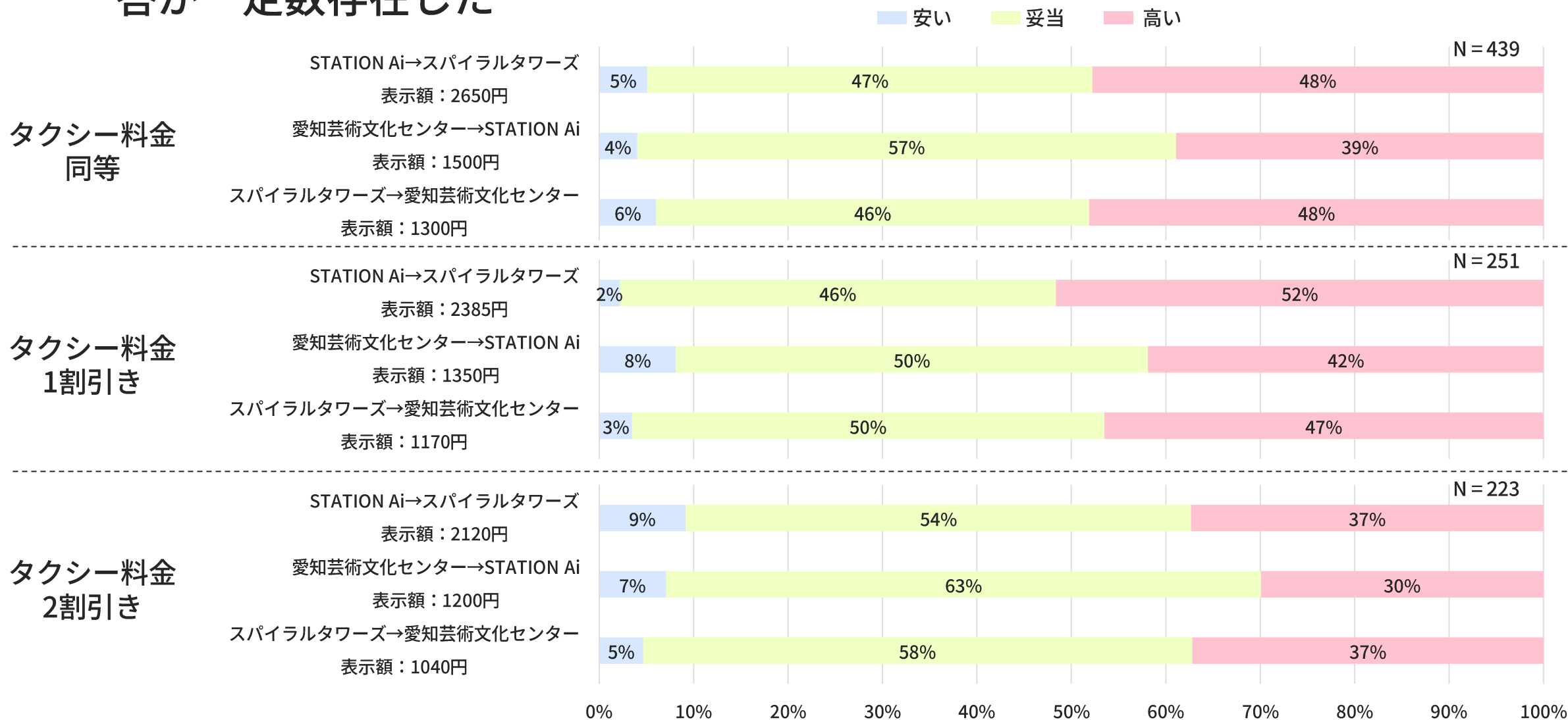


- タクシー型の自動運転サービスの乗降地点の拡大については中心市街地内、中心市街地から離れたエリアのそれぞれに一定数の要望があった



アンケート結果（運賃デモに対する印象）

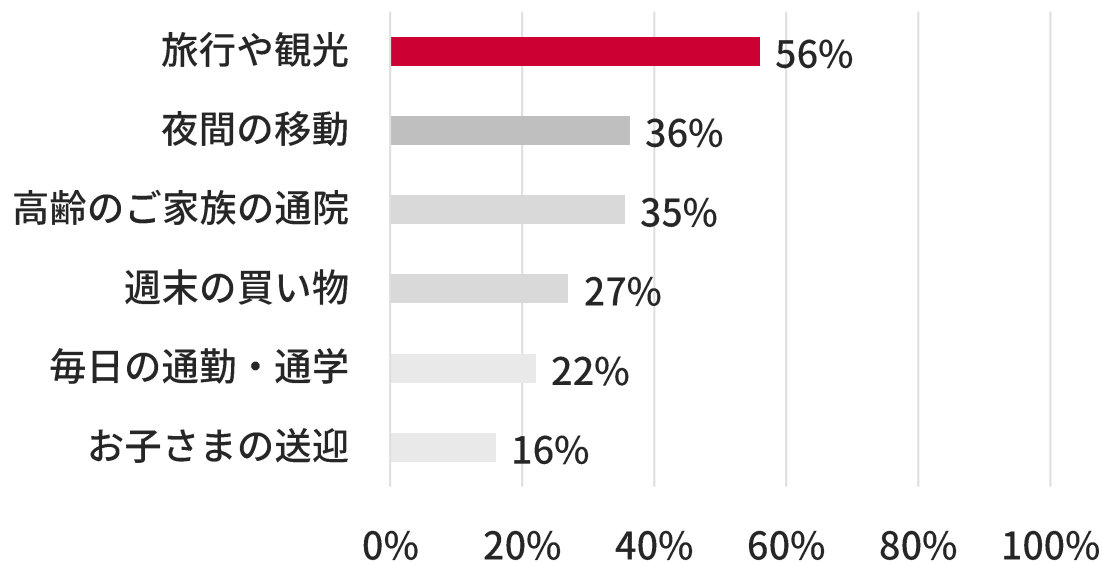
- 運賃のデモに対するアンケートではタクシー料金の2割引きでも高いという回答が一定数存在した



- タクシー型の自動運転サービスの将来的な用途として、旅行や観光で使いたいという声が多く、車内では睡眠や休憩や同乗者との会話をしたいという回答が多かった

どのような目的で利用したいか？

N = 883



車内で何をして過ごしたいか？

N = 884

